



.....
工事タイムス
.....

—鐵道—

■**神戸鐵道局改稱** 移轉と同時に大阪鐵道局と改稱すべき同局は、大阪新廳舎建設準備費として本年度1,400,000圓を計上した。

■**滿洲鐵道改善** 滿洲經濟調査會交通部委員会は七月八日開催、現在建設中の約600哩を加へて十箇年間に最小限2,500哩の延長、既設鐵道輸送能率の完成、東支鐵道と支那鐵道との聯絡輸送施設改善及港灣諸施設改善の十年計畫を滿場一致で通過した。

■**丹那隧道再生** 昨年八月來西口の大竹側に二百萬圓の豫算で水拔隧道を掘鑿中だったが、六月七日8,090呎掘進んだ處直徑約30呎の大空洞に掘當ると俄然一秒間38石の湧水が全部この水拔隧道に落ち込み底設導坑も頂設導坑もからからになつたので一回勢込んで本工事に着手。

■**同隧道東口** の熱海側で準備中のシールドは直徑9呎、長10呎の小形のものだが、我國では未だ充分な經驗を有する技術家少きため實地使用上大いに注意を要すべきものとして鐵道當局に於ては突發すべき諸種の條件を考慮して構造及設備につき慎重なる研究的態度を執りつゝある。

■**丹那トンネル工事近況** 熱海側東口に計畫中のシールドを坑内現場に組立中にして尙50噸の水壓ジャッキ6箇は目下製作中にて八月中には愈々シールド工に着手する由。大竹側西口は導水坑道にて空洞數箇所を掘り當り湧水は都合よく導水坑に集まり、本導坑の掘鑿工事進行中の由。

■**清水隧道停頓** 東洋一の土越南線同隧道工事は其後豫定通り毎日12尺位宛掘進んでゐたが六月三十日

朝に至り越後116,200尺の地點で再び軟層に突當り一頓挫を來した。

■**猪鼻隧道貫通** 土佐讃岐を貫く土讃線猪鼻隧道が六月二十一日貫通した、延長12,619呎、大正十二年六月二日起工以來二年十一ヶ月、工費4,200,000圓、

■**小田原急行電鐵** の敷設工事は全線を八區に分つて着工中だが、降雨が少ないので意外に進捗、既に相模、酒匂、多摩三川の橋臺工事も了り、九月中には線路完成の見込、來春三月には全線竣成、四月一日より開通確實であらう。

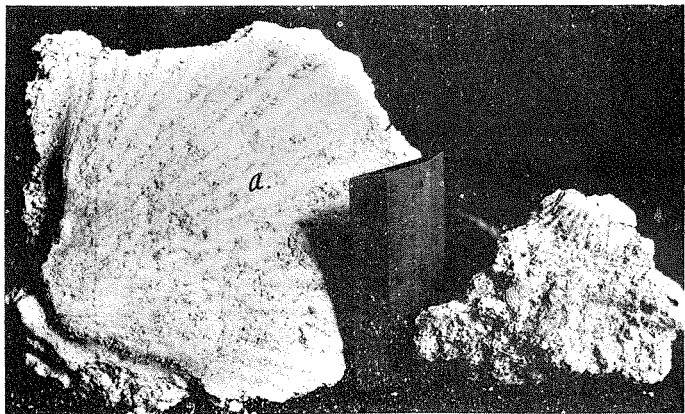
—建築—

■**クリーム色** 鐵筋コンクリート四階建の四谷第六小學校は六月二十五日開校式を擧げる、延坪1,695坪工費679,300圓、

■**東京市結核療養所** 市外野方町に新築成り、六月十二日落成式執行、鐵筋コンクリート三階建、工費約1,160,000圓、

■**御物書庫新築** 宮内省では二十六萬卷の御物圖書のため宮城内舊本丸に書庫を新築する、鈴木技師の設計で七月起工、鐵筋コンクリート三階建、工費500,000圓、工期一箇年。

■**大連築の便所落第** 最近警視廳衛生部で東京市内外の大建築の水槽便所約1,600に就き調査の結果、



丹那隧道西口中より採掘されし化石〔其の一〕

aは學名 *Pecten Kanlarai Yokoyama*、第三紀鮮新期、bは學名 *Cavdium sp.*、第三紀現新时期に屬す。何れも丹那盆地の西方6,000呎地表より500呎の地中即底設導坑4,000呎附近より採取す。

(1) Fossils found in Tanna Tunnel, at 700 feet below Surface of the Ground.

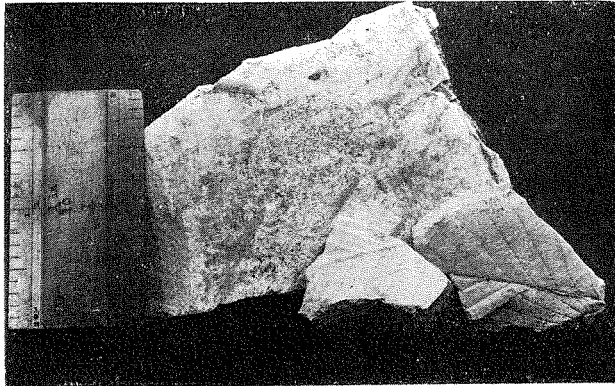
不完全 233、構造不備 232、取扱不備 128、無許可 13で大部分が違反してゐた、それも一流所が多く、個人では醫學博士が多數なのは皮肉。

工事タイムス

■東北大學失火 六月二十四日工學部機械學科、電氣學科を全燒、損害1,300,000圓、八木博士の殺人光線に關する研究、宮城博士の水力電氣實驗等全然烏有に歸したのは實に惜しい。

—河 海—

■富山縣伏木港 修築工事の地鎮祭並に起工式は六月十三日執行。同計畫は同港輸出入貨物を大正二十年には1,510,000噸と見て施工されるもので防波堤構築、棧橋増設、船渠新設、浚渫埋立等で經費5,000,000圓、工期12年。



丹那隧道西口中より採掘されし化石〔其の二〕
學名 Fagus sp. の葉、第三紀現世期に屬す。地表より700
呎の地下、頂設導坑 7,070 呎附近の泥岩、黒砂の瓦層中に
介在せり。
(2) Fossils Called "Leave of Fagus sp." found 7,070 feet
from the Western Portal of Tanna Tunnel.

■海國日本の燈標 一基に對する海岸線哩程を世界各國の夫に比較すると下記の通り最下位にある。

オランダ	2.04哩
ドイツ	2.75
米 國	3.05
フランス	3.60
英 國	4.97
イタリー	6.26
瑞、諾兩國	6.58
デンマーク	6.70
スペイン	7.42
葡 國	10.02
カナダ	16.96
支 那	34.29
日 本	39.42

主として1920年十二月調獨逸英國燈臺表に依る。日本は大正十二年末現在、米國は1920年六月、カナダ

は1921年四月、支那は1920年十二月現在の燈臺數又は年報に依る。

—治 水—

■震災地復舊 關する砂防會議は六月二十八日内務省に開催、市瀬内務技監、岡田、島、金森三課長佐藤農林省公私林課長外關係各府縣技師出席、既定計畫たる相摸、早川、多摩、匂谷、花水各川の砂防工事は内務省が 5,000,000 圓で溪流工事、農林省が 4,000,000 圓で山腹工事を行つてゐるが

■先決問題は 上流御料地の砂防工事を完全にする點にあるも宮内省ではその面積廣汎なるにも拘らず僅々 500,000 圓の豫算を計上せるのみで完全を期し得ないから近く同省に工事進捗を促すことゝなつた。

■北海道俱知安 土功組合の灌漑溝が通水した、同工事は灌漑總反別 2,070 町歩工費1,200,000圓、大正十一年起工、昨冬幹線十三線此延長 24,000間を開掘、本年揚水機据付を了し六月全線の通水を見るに至つたもの、同道唯一の難工事と稱せらる。

—道 路—

■自動車道路網 内務省では全國各府縣を連絡する約六千里の主要道路中から二千里の自動車道路を選定し總額一億六千萬圓の經費で明年度より十箇年間に改築するため明年度に約三百萬圓を計上す

る筈。

■帝都名物惡道路 の夏季防塵法として市道路局では五萬圓を投じ藥品使用の新法を試みる、鋪裝路は撒水と掃除自動車で除泥するが一番厄介な砂利道にはアスファルト油又はその溶劑を塗布する、埃の少い所は鹽化石灰粉又は同溶液を撒布し路面に濕氣を持たせて防塵する。又雨期の惡道路には

■一組二人宛 約 1,000 組に分ち受持區域を縮少してその區間の全責任を負はしめ絶えず泥かきを行はしめ凸凹は削つて砂利を入れさせる。

—橋 梁—

■馬入橋開通 國道第一號路線神奈川縣相摸川に架する馬入橋が六月竣成した、同橋は大正十三年十二月國庫補助の下に起工、工費 493,978 圓、ヒヤ 28本、ゲーター 29連、總延長 342間、有効幅員 24尺、床版鐵筋コンクリート、アスファルト鋪裝。

■鴨綠江鐵橋 今回安東停車場の新築着工を機會に

架替へることになった、現在鐵橋は人車道とし200呎上流に23,500,000圓を投じて複線を新設し、中央に塔を設けて船舶の通行を自由ならしめる。

—會議—

■土木課長會議 六月二十三日から三日間内務省で開催、各府縣土木課長約五十名其他本省關係者出席、濱口新内相は土木の事は民間と密接な關係を有するから一黨一派の權勢に利用されないこと、科學の進歩に順應したる智識を必要として各位の奮發を切望すると訓示した。

■希望及意見 の主なるものは從來の災害復舊主義を一歩進めて改良主義に改めたきこと、河川改修工事智識普及のため治水協會設立の希望、土木行政の根本的刷新統一を圖るため新進の事務官を配置すること、地方の砂防工事は重大であるから國庫補助を考へて貰ひたい等々。

■セメント 銅鐵其他電氣用品等の工業品規格統一調査會第五回總會は六月二十三日九ノ内で開かれ片岡會長其他委員幹事審議の後工業用品二十七件の規格案を可決した。

■阪神方面の 鐵道改良工事に關し六月二十三日鐵道省では後藤工務局長、菊地旅客課長、石田神鐵局長、木村神戸改良所長等出席、吹田操車ヤード、大阪神戸兵庫三の宮各驛の設備改良工事に關する協議會を開いた。

—人事—

■平井晴二郎氏 貴族院議員正三位勳一等工學博士の同氏は六月二十八日夕鎌倉の別邸で逝去された、享年七十一、氏は大正二年五月後藤總裁の下に鐵道院副總裁たりし時勅令により現職の儘支那政府顧問(年俸五萬圓)として赴任したが肺患のため昨年九月歸朝靜養中だつた。

■有名な建築技師 エー・エム・スチュワート氏は六月二十一日朝横濱入港のカナダ丸で來朝、ニウヨークの麗天樓ウルウォース・ビルディングを請負つた人で前號所報三井合名ビル建築のため來朝したのである。

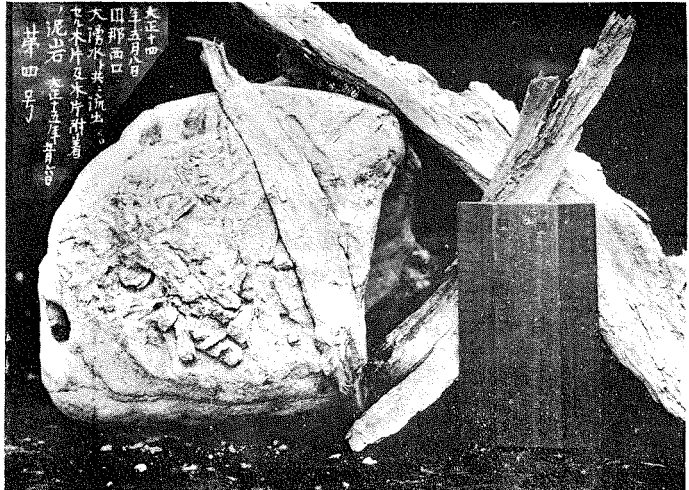
■海と河の博士 復興局土木課の技師久永勇吉、内

務省土木部技師荒木文四郎の兩氏が今度工學博士となつた、久永氏の論文は「日本河川に於る洪水」、荒木氏のは「砂濱に於る港灣修築と漂砂との關係に就て」であつて共に學界並に實地に貢獻する處勤からざるものである。

■中村是公氏 が東京市長をやめた、建築局長佐野博士もやめた、博士は惜しい人だが大學教授として専ら力を盡すとの事である。因に新市長には伊澤多喜男氏が七月十六日就任した。

■東京高等工業 學校長吉武榮之進博士は依頼免本官となり、同校電氣科教授中村幸之助博士新に校長に任ぜられた(六月三十日)。

■岡田竹五郎博士 先頃金剛山電鐵專務取締役を辭



丹那隧道西口中より採掘されし化石〔其の三〕
學名Fagus sp.の幹。〔前圖の化石と同一地點より採取す(左方は昨年五月八日、西口大湧水の際流出せる木片附着の泥岩)〕
(3) The Same Called "Trunk of Fagus sp."

任、東京市外上澁谷 112に轉居された。

■復興局所長更迭 東京第一出張所長山口安憲氏が東京市の第二助役就任に伴ひ同局書記官大西一郎氏が七月十九日附後任を命ぜられた。

—賃金、物價—

■六月の都市賃金 十三都市の總平均は103.5で前月より五厘方昂騰した、平均指數の最高は漁夫の109.8 飲食料工業の108である、指數は大正十年以後三箇年の平均を100とす。

■建築材料暴落 六月の平均指數は前月に比し4の低落を示した、内譯は次の通り。

種目	六月	五月	前年六月
割栗砂利、砂	305	305	360
セメント	182	182	176
煉瓦	200	200	216
石材	329	329	399
鐵物	131	134	147
亜鉛鍍鐵平板及生子板	136	143	163
銅コーベル板	140	143	150
瓦、スレート、石綿盤	189	189	183
硝子	165	168	219

杭及梁松丸太	316	316	358
長杉丸太	245	245	291
押角(杉及檜)山挽角(樫及榎)	325	349	340
板類(杉、松、エゾ松)	228	239	268
葉柄(杉、松)	253	255	257
松挽立小屋材	289	312	292
米松角材	123	130	137
杉丸太	400	400	429
檜丸太	320	313	400
平均	238	242	266

右は大正三年一月の平均相場を100としたもので最高であつた、大正九年四月の平均相場を100とせば六月の平均指数は51である。

— 雜 —

■技術者資格検定 日本工人倶楽部の第二回技術者資格検定試験は豫報の如く五月五日から九ノ内の土木學會内で施行された試験に關する照會は全國及び殖民地を通じ約1,000名で其内17人の受験申込があり、試験の結果は左の5名が合格した

土木科第二種	原 芳 雄
同	江 利 川 眞 吾
同	高 田 半 吉
建築科第三種	大 木 申
應用化學科第三種	田 中 順 一

尙各科の試験問題は本誌録自なき爲め掲載を見合せたるが、希望者には便宜送付すべし。

■油槽の建設 に從來の露出式を土中式に改めるが空軍防備上安全なりとの理由で廣島縣の廣村に今四海軍の重油タンクが地下隠蔽式に計畫された。

■二十億圓 の負債を六十年間に作った日本はそれ

だけ世帯が張つて來たわけ、悲觀するに及ばない。

■日本ヒューム コンクリート株式會社は今回社長淺野泰治郎氏の外に坂本陶一氏新に専務取締役となり、同時にコンクリート管の製作及び埋設工事の理論並に實際に關し深き經驗ある技師ウキリアムス氏を聘し國産コンクリート管としての特色發揮に努むる由。

■地下鐵増資 東京地下鐵道は本年十月より新に上野萬世橋間工事に着手する豫定で、之が資金に充つるため一千萬圓(倍額)の増資を決定した。

■鐵道省の信濃川 發電所は大體下記の如き計畫で着手することに略決定した模様である、總工費140,000,000圓、最大出電力144,000キロ、工期大正十六年より十三ヶ年。

■之を四期に分ち 第一期工費51,000,000圓(利用水量3,000個、出電力キ38,500キロ)を愈々十六年度豫算に計上する管筒取入口は鹿波新田より約1,500軒下流の見野村、貯水池は淺河原、發電所は山邊及千々の二ヶ所。

■費府の博覽會 フィラデルフィアで六月一日から開催中の米國獨立百五十年記念博の概観。會場敷地總計100,000坪、館内の建坪10,000坪、本邦の陳列所1,000坪、建物全體はエジプト式にグreek其他各樣式を加味してある、正門には自由の鐘を模した大鐘を吊しそれを約百萬の電球で飾つてゐる、此費用が255,000弗、全部の完成は八月頃。

■何より感心 されるのは全部の敷地並に道路工事の整然たることで、凸凹のひどい所謂處女地を實に驚くべき機械力を以て直に砥の如き道路に一變した點、流石サイエンス万能を叫び自然征服を意氣込む新進氣鋭の米國の色彩が如實に表現されてゐるさうな

(大毎小早川秋聲氏による)

■正誤 前號本欄行幸道路の坪當り工費3,200圓也は320圓の邊算につき訂正。

浦安の堤の橋乃むれ倫
 泊りさだめし橋のむれ

◇ わだつみをへだつ堤の浦安に泊りさだめし橋のむれ

直木博士 ◇